



日本環境共生学会 第23回（2020年度）学術大会 プログラム

Program of the 23th Annual Meeting of
Japan Association for Human and
Environmental Symbiosis2020

2020年9月25日（土）、26日（日）
Zoom開催
September 25-26, 2020
Zoom meeting

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックの中、第23回（2020年度）日本環境共生学会学術大会（オンライン）に参加して頂き、ありがとうございます。

本学術大会は、新型コロナウイルス対策の観点からオンライン開催に変更しましたが、オンラインの利点を生かして、困難な条件で研究を実施している会員の研究発表の機会として、無料で発表・討論できるように、会員のノウハウと工夫を結集してボランティア精神で成功させることに致しました。

学術セッションにつきましては、シングルセッションにすることによって、全ての発表に参加することができるようになりました。今回の学術セッションは、論文誌『環境共生』の投稿規定を改正し、論文の審査分野を指定する別表を論文カテゴリー表としての別表に改めて行われる最初の学術大会です。（2020年4月1日投稿規程変更のお知らせ（学術・編集委員会；<https://jahes.jp/jimukyoku/20200401toukokuiteihenkou/>）発表者の記載した◎、○によりますと、下記のカテゴリーに関連した発表論文が多いことが分かりました。

A1. レジリエントな国土・防災

A9. 交通

A3. 持続可能なまち・地域づくり、地域活性化、伝統・文化の継承・活用

A6. 再生可能エネルギー・バイオマス活用

B1. 気候変動緩和・エネルギー問題

C5. モデル化（数値シミュレーション、統計モデル、AI等）

B15. 教育・人材育成

B10. SDGs（ターゲットを指定すること）

C1. 環境共生の理念・体系化への寄与

また、特別セッション「コロナ後の持続可能な社会を構想する」では、特別講演「人獣共通感染症の生態学的アプローチ～生物多様性の観点から感染症リスクを考える」に引き続き、「COVID-19パンデミックによる気付き、変わること・変わらないこと」について、「交通・コミュニケーション・街づくり、SDGsとのつながり」及び「SDGsを軸として、ビジネス・教育」をテーマにパネルディスカッションを行う予定です。

熱心な発表と討論を通じ、「環境共生」についてより深く掘り下げ、視野を広げると共に、オンライン学術大会のチャレンジが成功するように、皆様のご協力をお願い致します。

なお、第24回2021年度日本環境共生学会学術大会は、今年度予定していた北九州市で開催する予定です。

日本環境共生学会第23回（2020年度）学術大会実行委員長 中根英昭

1. 日本環境共生学会第23回(2020年度)学術大会(オンライン) プログラム

一つの発表当たり質疑応答込み20分

9月24日 13:30-16:00	発表者向けリハーサル	希望者のみ(接続確認)
9月25日 10:30-10:40	開会、事務連絡	
10:40-12:00	SDGsと環境共生1	座長:福井 弘道 中部大学教授
25A11	「民主主義」から「生態系主義(Eco-crazy)」へ	建部 好治(大阪市立大学大学院都市経営研究科)
25A12	新規移住者の地域への愛着形成要因に関する研究〜コンパクト・スマートシティにおける環境移行を視野に〜	村上 結(名古屋外国語大学) 城月 雅大(名古屋外国語大学)
25A13	中小規模食品事業者の食品廃棄に関する実態及び意識 ーSDGs12.5に焦点を当ててー	小林 久美子(千葉大学大学院園芸学研究科) 三島 孔明(千葉大学大学院園芸学研究科)
25A14	人口減少下、下水処理の持続可能性を確保するために必要な下水道施設のコンパクト化に関する研究	宮原 慎(九州大学工学府都市環境システム工学専攻)
13:00-14:00	SDGsと環境共生2	座長:風見 正三 宮城大学教授、理事・副学長
25B11	再生可能都市への転換戦略を検討できる都市・地域評価システムの開発	朴 秀日(名古屋大学) 加藤 博和(名古屋大学)
25B12	中山間地域における自動運転車の導入に向けた基礎分析 ー福島県三島町南部を対象としてー	星野 遼太(日本大学 大学院) 伊東 英幸(日本大学) 藤井 敬宏(日本大学) 大場 真(国立環境研究所) 中村 省吾(国立環境研究所)
25B13	小規模文系大学における学生の主体的な学修の規程要因について〜学生と大学の関わりに着目して〜	山門 正宜(名古屋産業大学大学院環境マネジメント研究科) 石橋 健一(愛知学院大学愛知学院大学総合政策学部)
14:20-15:00	表彰式	
15:30-17:00	特別セッション	コロナ後の持続可能な社会を構想する(仮題)
17:00-18:30	交流会	

9月26日 9:30-10:50 環境共生各論：生態系、農業		座長：古沢 浩 高知工科大学教授
26A11	自然保全地域における植物調査への深層学習法の応用	白石 瑠菜 (北九州市立大学) 中山 紘喜 (北九州市立大学) 西野 友子 (北九州市立大学) 野上 敦嗣 (北九州市立大学)
26A12	ポリネーターが生産する供給サービスの受益者評価：長崎市市街地産の百花蜜に注目して	太田 貴大 (長崎大学水産・環境科学総合研究科)
26A13	エゾシカと車両の事故多発路線を対象とした事故発生要因モデルの比較分析	鈴木 絢人 (日本大学大学院) 伊東 英幸 (日本大学) 藤井 敬宏 (日本大学)
26A14	EUと日本の農地の空石積みの修復補助施策に関する考察	金子 玲大 (徳島大学大学院先端技術科学教育部) 山中 英生 (徳島大学大学院社会産業理工学研究部)
11:10-12:10 環境共生各論：防災		座長：豊田 祐輔 立命館大学
26A21	森林の多面的機能の評価シミュレーション：広島県内における防災面の観点から	宮内 彩希 (高知工科大学大学院環境数理コース) 古沢 浩 (高知工科大学環境理工学群)
26A22	南海トラフ巨大地震の津波による経済被害と復旧過程の評価に関する研究	松島 大智 (豊橋技術科学大学大学院) 洪澤 博幸 (豊橋技術科学大学大学院)
26A23	南海トラフ巨大地震の津波による建物由来の災害廃棄物発生量の推計 -和歌山県を対象として-	杉本 賢二 (大阪工業大学工学部) 奥岡 桂次郎 (岐阜大学新学部設置準備室) 秋山 祐樹 (東京都都市大学建築都市デザイン学部)
13:10-14:50 環境共生各論：温暖化、再エネ		座長：洪澤 博幸 豊橋技術科学大学教授
26B11	COOL CHOICE普及啓発事例に基づくナッジ活用の研究	原 理史 (中部大学中部高等学術研究所) 水上 聡子 (アルマス・バイオコスモス研究所) 清本 三郎 (一般社団法人環境創造研究センター) 福井 弘道 (中部大学中部高等学術研究所)
26B12	COOL CHOICE普及啓発事業の効果に関する調査分析	松本 美紀 ((一社)地球温暖化防止全国ネット) 松本 貴志 ((一社)地球温暖化防止全国ネット) 木場 和義 ((一社)地球温暖化防止全国ネット)
26B13	PVとEVの連携による電力需給調整機能の可能性評価	田中丸 善鴻 (北九州市立大学大学院 国際 環境 工 学 研究科) 松本 亨 (北九州市立大学国際環境工学部) 藤山 淳史 (北九州市立大学環境技術 研究 所)
26B14	住宅用太陽光発電における導入ポテンシャルの推計 -名古屋西部広域地域でのケーススタディ-	松元俊樹 (名古屋大学大学院工学研究科) 林希一郎 (名古屋大学未来材料・システム研究所) 富野友貴 (中部電力) 中村真敏 (中部電力)
26B15	気象条件の影響を考慮した豪雪地帯の片面型太陽光発電ポテンシャルの考察 -青森県を事例として-	藤田周 (慶應義塾大学環境情報学部) 岸本慧大 (慶應義塾大学院政策・メディア研究科) 巖 網林 (慶應義塾大学環境情報学部)

15:10-17:20 環境共生各論：国際		座長：那須 清吾 高知工科大学教授
26B21	Automatic Detection of Solar Panels in Nagoya City Using Deep Learning Methods	Yue HUANG (Graduate School of Engineering, Nagoya University) Kiichiro HAYASHI (Institute of Materials and Systems for Sustainability, Nagoya University)
26B22	Community-Based Waste Management (Waste Bank) as Intention Recycling Behavior Predictor Using Structural Equation Modeling in Semarang City, Indonesia	Qiyam Maulana Binu Soesanto (Graduate School of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu) Indriyani Rachman (Faculty of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu) Toru Matsumoto (Faculty of Environmental Engineering, The University of Kitakyushu)
26B23	Analysis on Resources Time Footprint of Potential Site Selection for Small Hydropower Plant-A Case Study in Dan River Basin in China	Xiaoxun HUANG (Graduate School of Engineering, Nagoya University) Kiichiro HAYASHI (Institute of Materials and Systems for Sustainability, Nagoya University) Minoru FUJII (National Institute for Environmental Studies) Nobuko KAWAGUCHI (Tamano Consultants Co., Ltd.) Ferdinando VILLA (Basque Centre for Climate Change) Yuri YAMAZAKI (Faculty of Regional Environment Science, Tokyo University of Agriculture) Hiromu OKAZAWA (Faculty of Regional Environment Science, Tokyo University of Agriculture)
26B24	Do Japanese Locals and Migrants Speak the Same Language?! Appraising Potentials and Barriers of Communication in a Rural Area in Japan	Marjan KHALEGHI(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University) Hirokazu KATO(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University) Yasuhiro HIRANO(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University) Noriyuki KAWAMURA(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University) Noriko SUGIYAMA(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University) Hiromi YAMASHITA(College of Asia Pacific Studies, Ritsumeikan Asia Pacific University) Takafumi MIYASAKA(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University) Yuji KAKIMOTO(Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University)
26B25	Relocation Behavior of Residents due to Flooding in Cagayan de Oro City, Philippines	Noriyasu TSUMITA (Graduate school of Science and Technology, Nihon University) Alexis FILLONE (Civil Engineering Department, De La Salle University) Anabel A. ABUZO (Civil Engineering Department, Xavier University) Avalyn CAHULOGAN (Civil Engineering Department, Xavier University) Atsushi FUKUDA (College of Science and Technology, Nihon University)
26B26	Impact of Rainfall Intensity on Macroscopic Traffic Variables of Urban Roads using Data from Bluetooth Detectors	Piyapong SUWANNO (Graduate school of Science and Technology, Nihon University) Rattapanorn KASEMSRI (School of Civil Engineering, Suranaree University of Technology) Atsushi FUKUDA (College of Science and Technology, Nihon University) Prasan JITPAT (Rajamangala University of Technology Srivijaya)

3発表の後に10分間休憩

17:20 閉会

特別セッション (9月25日 15:30~17:00)

テーマ「コロナ後の持続可能な社会を構想する」

コンビナー：中根英昭（日本環境共生学会会長）

サブコンビナー：石橋健一（愛知学院大学教授）

・特別講演

「人獣共通感染症の生態学的アプローチ～生物多様性の観点から感染症リスクを考える」

五箇公一（国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価・対策研究室 室長）

・問題提起

「COVID-19 パンデミックによる気付き、変わること・変わらないこと」

中根英昭

・パネルディスカッション：

（1）交通・コミュニケーション・街づくり、SDGs とのつながり

パネリスト 福田敦（日本大学教授）、鐘ヶ江秀彦（立命館大学教授）

討論者 山中英生（徳島大学教授）、加藤博和（名古屋大学教授）

（2）SDGs を軸として、ビジネス・教育

パネリスト 九里徳泰（相模女子大学教授）

討論者 木村美智子（茨城大学教授）、福井弘道（中部大学教授）

（3）講演者、パネリスト、討論者及び聴衆による討論

・まとめ

日本環境共生学会第23回（2020年度）学術大会実行委員会

委員長	中根 英昭	（高知工科大学名誉教授）
副委員長	石橋 健一	（愛知学院大学）；学術大会総務、会計
副委員長	林 希一郎	（名古屋大学）；学術セッションプログラム等
副委員長	福田 敦	（日本大学）；Zoom 会議運営総括等
委員	伊東 英幸	（日本大学）
委員	鐘ヶ江秀彦	（立命館大学）
委員	九里 徳泰	（相模女子大学）
委員	豊田 祐輔	（立命館大学）
委員	藤山 淳史	（北九州市立大学）
委員	古沢 浩	（高知工科大学）
委員	松本 亨	（北九州市立大学）
委員	菊池 浩紀	（日本大学）
委員	積田 典泰	（日本大学）
学会事務局長	森下 英治	（愛知学院大学）

日本環境共生学会第23回（2020年度）学術大会発表論文集

編集 日本環境共生学会第23回（2020年度）学術大会実行委員会

メール jahes2020@gmail.com

URL <https://sites.google.com/site/jahes2015/>

発行日 2020年9月25日

(ver.1:2020年9月14日版)